



中之島だより

令和3年1月号

和歌山市立中之島小学校



2021年がスタート

【校長 太田 謙二】

新年、あけましておめでとうございます。2021年（令和3年）がスタートしました。昨年は、新型コロナウイルスの影響で4月、5月は休業、6月から教育活動が再開しましたが、例年のような流れの中で、学習や行事等を進めていくことは、大変難しい状況でした。でも、保護者の皆さまや地域の皆さまのご協力のおかげで、なんとか2020年を締めくくり、2021年を迎えることができました。

今年の干支は「丑」（うし）です。「丑」は、中国の歴史書によると「紐」（「結ぶ」「からむ」）の意味で、芽が種子の中に生じているものの、出かかっていて表面に出てきていない状態。「我慢（耐える）」や「発展の前ぶれ（芽が出る）」を表していると言われています。まさに2021年は、先を急がず一步一步着実に物事を進めることで、新たな発展へと繋げる年にしていきたいですね。



さて、3学期は、最も短い学期ですが、各学年とも取り組んできた学習や活動のまとめをし、新しい学年に向けての準備をする時期です。特に6年生は、卒業をひかえ、小学校生活のまとめをして中学校へとつなげる大事な時期となります。子供たち一人一人が、3学期を一日一日大切にしっかりと取り組み、いい形で締めくくって欲しいと思います。



年が明けても、まだまだ首都圏を中心に全国的に新型コロナウイルスの感染が拡大しており、大変心配な状況です。日々の健康チェックやマスクの着用はもとより、こまめで丁寧な手洗い、換気など引き続き感染症対策を徹底していかなければいけないと感じています。

新しい年を迎え、子供たちが、新たな気持ちで目標をしっかりと持ち、成長できるよう、教職員一同協力して取り組んでまいります。保護者の皆さま、地域の皆さま、今年も何卒、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

